全国公立学校教頭会通信　NO. １５

きずな

発 行　令和７年 12 月吉日
全国公立学校教頭会研究部
電話：　03-3436-4868
Mail：　zenkokyo@kyotokai.jp
HP：　https://www.kyotokai.jp

東北ブロック研究大会山形大会報告

研究部　中津　大輔

1　大会名称　　第４５回東北地区小中学校教頭会研究大会　山形大会
（第５４回山形県小中学校教頭会研究大会）

2　開催期日　　令和７年１１月１３日（木）～１４日（金）

3　開催場所　　山形県山形市
（１）全 体 会　山形テルサ
（２）分 科 会　①第１・第２・第３分科会：山形国際ホテル
②第４・第５分科会：ホテルメトロポリタン山形

4　日　　程　　（１）１ 日 目　13:00～14:00　開会行事
14:15～15:45　記念講演
（２）２ 日 目　9:00～11:55　分科会
11:55～12:00　閉会行事

5　大会の概要　　（１）大会主題　「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」
キーワード〈自立・協働・創造〉
（２）主　　催　東北地区小中学校教頭会　　山形県小中学校教頭会
（３）後　　援　山形県教育委員会　　山形市教育委員会　　山形県市町村教育委員会協議会
山形県連合小学校長会　　山形県中学校長会　　山形県ＰＴＡ連合会
一般財団法人山形県教育共励会
公益財団法人日本教育公務員弘済会山形支部　　（順不同）
（４）分 科 会　①教育課程に関する課題　　②子供の発達に関する課題
③教育環境整備に関する課題　　④組織・運営に関する課題
⑤教職員の専門性に関する課題
（５）開会行事　①開会のことば　　②国歌斉唱
③あいさつ（東北地区小中学校教頭会会長　全国公立学校教頭会会長）
④祝辞（山形県教育委員会教育長）　⑤来賓紹介　　⑥研究基調提案
⑦次期東北大会開催県代表挨拶（秋田県小・中学校教頭会会長）　⑧ 閉会のことば
（６）記念講演　演題　「マメに生きる。」
講師　株式会社 でん六 代表取締役社長　　鈴木　隆一　氏
（７）閉会行事　①助言者への御礼の言葉（司会）　②発表者への御礼　③閉会の挨拶

６　大会に参加しての感想

本大会には、東北一円から600名あまりの副校長・教頭先生方が参集した。

１日目の開会行事では、山形県小中学校教頭会 研究部長より「研究基調提案」があった。本研究大会においては、全国共通研究課題を受けた５つの課題に対し、５分科会において１０の提言を行うこと、３Ｃの視点を踏まえながら課題を共有し、互いの経験や実践、解決方法等について協議し、そこで得た知見をもとに副校長・教頭としての職務に希望をもって臨んでいただきたい旨が述べられた。山形県の副校長・教頭先生方の本研究大会に期する思いが伝わってくるものであった。

引き続き、記念講演が行われた。講師を務められたのは、「株式会社 でん六」の三代目社長である鈴木隆一 氏。平成14年に代表取締役社長に就任し、20年以上にわたり国内有数の企業のトップを務めてこられた方である。創業者である祖父、二代目社長を務めた父が「相互信頼の経営」を重視し、従業員を大切にしながら事業を拡大させていった姿勢から「経営理念」の重要性に気づく。そして、三代目社長である自身の経営理念として「喜働（きどう）経営」を掲げている。これは、相手に感謝し相手が喜ぶことに取り組むことを第一とした経営・人材育成を推進するという考え方であり、その起点は経営者にあるとされている。「経営者の自己革新」があってこそ、人を変えることができる。経営者として「経営理念」という、ぶれない軸を重視する一方で、次の時代を見つめ、時代に求められる人材の育成も手掛ける姿勢に、副校長・教頭として学ぶべきことにあふれた内容であった。

２日目は各分科会が開催され、５つの研究課題について、それぞれ２つずつの提言発表がなされ、質疑応答、グループ協議、協議内容の発表（３グループ抽出)、指導助言という次第で進行された。提言発表に基づき、グループとなった各県の副校長・教頭先生方が、自校やその地域の実態を踏まえた実践を語り、意欲的に協議に臨む姿があった。いくつかのグループの協議に耳をそばだてていると、自身もその中に加わって議論を深めたいという気持ちが沸き上がってきた。また、スマートフォンに保存されている、実践に係る情報を提示しあいながら協議する様子が印象的であった。

大会を通じて、改めて学校が抱える課題の多様化・複雑化を実感した。そして、その課題解決に組織的に向かっていく上で、副校長・教頭の果たすべき役割が大きくなっていることも感じられた。チーム学校の要となり、教職員をリードしていくためにも、常に研鑽と修養に努める必要があることを再認識した。

最後に、多忙な公務の合間を縫って本大会の準備、運営をしてくださった山形県小中学校教頭会の皆様に心から感謝したい。